

豊後高田 International Contribution 事業協同組合

～令和7年2月12日(水)訪問～ 【豊後高田市】



豊後高田International Contribution事業協同組合(通称:BIC)は、平成30年に豊後高田市役所、豊後高田商工会議所、株式会社トヨ・テックの3者により設立されました。外国人技能実習生の受入れを積極的に推進するとともに、実習生が安心して学び、楽しく快適に暮らせる仕組みを構築するため、全国初となる官民共同での取組を推進しています。現在、豊後高田市には千人近くの実習生が暮らし、その住民に占める割合は別府市について県内2番目であり、地域経済の大きな力となっています。

懇談では、市民との相互理解を促進するため、盆踊りや二十歳の集い、フットサル大会といったイベントに実習生が参加できるよう企画したほか、地域での円滑な生活のため、自治体や地元警察署と連携してゴミ出しや自転車の交通ルール等について指導するなど、多岐にわたる支援を行っている様子をお聞きしました。また、実習生から要望のある、公共交通機関の利便性向上や病院・行政手続等における多言語化対応、休日や夜間の日本語教室開催などについても伺いました。

外国人に選ばれ、共生できる地域づくりを目指して実践されている皆さんに感謝を申し上げ、県も市と連携して支援するので、引き続き活躍していただきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:【特】多文化共生推進事業

事業概要:多文化共生を推進し外国人材から選ばれる大分県を実現するため、外国人が地域社会の一員として活躍するとともに、安心して暮らすことのできる環境を整備する。

- ・外国人住民に対する地域での支援モデルの構築
- ・生活意識やニーズ把握に向けた外国人意識調査の実施
- ・外国人総合相談センターの運営 等

予算額:4,394万円

☆事業名:外国人労働者受入対策強化事業

事業概要:外国人材の受入れ・定着を推進するため、海外に向けて県内の情報を発信するとともに、就業環境等の整備に取り組む企業等への支援を実施

- ・県内中小企業等が行う外国人材の就業環境整備等に要する経費への助成

予算額:6,395万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」